

平成28年度 研究・調査企画会議 プログラム評価部会（第1回）

議事概要

1 日時：平成28年12月2日（金）10：00～11：26

2 場所：食品安全委員会中会議室

3 出席者（4名）

梶木 富美恵 神奈川県保健福祉局生活衛生部部長

川西 徹 国立医薬品食品衛生研究所所長

◎酒井 健夫 公益社団法人日本獣医師会副会長、日本大学名誉教授

林 清 東洋大学食環境科学部長、健康栄養学科教授

欠席者（2名）

唐木 英明 公益財団法人食の安全・安心財団理事長、東京大学名誉教授

渡邊 治雄 国際医療福祉大学大学院教授

（◎：座長）

その他、食品安全委員会から佐藤委員長ほか3名が、事務局から川島事務局長ほか9名が出席

4 議事概要

（1）食品健康影響評価技術研究及び食品安全確保総合調査のプログラム評価に関する指針について

○ 事務局から、昨年度のプログラム評価部会での審議を踏まえて修正したプログラム評価指針案について説明があり、審議を行った。

○ 主な意見は以下のとおりであった。

・追跡評価結果はプログラム評価部会に報告するだけでなく事前・中間評価部会や事後評価部会にもフィードバックすることが必要であり、「事務局が行った追跡評価結果を研究・調査企画会議に報告する。」という書きぶりについては工夫する必要がある。

○ 本日の審議内容を踏まえ、事務局において評価指針（案）の文言を一部修正し、同部会委員が内容を確認した上で、本日付けで評価指針として決定することが了承された。

（2）追跡評価について

○ 事務局から、研究事業及び成果事業の活用状況について説明があり、審議を行った。

○ 主な意見は以下のとおりであった。

・メルクマールとして、「評価書等への活用」及び「論文化された数」が挙げられているが、これだけでは研究成果が食品安全委員会の施策にいかに関与しているかが不明である。

るかが見えないので、メルクマールを追加する必要がある。

・「評価書等への活用」の「等」について、成果として読み込めるものは具体的に明記し、食品安全委員会の施策に役立っていることをアピールしていくべきである。

### (3) その他

- 事務局から、今後のプログラム評価部会の開催スケジュール及び審議内容について説明があった。

—以上—

(注：本部会は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。)